

防災だより

第8号

平成29年12月6日発行 小田急金森泉自治会 自主防災隊

南地区「防災の集い」報告

- ・南地区初めての取組みとして11月26日（日）周辺地域の多くの参加者を得て盛況に行われ、私たち自治会（男性4名、女性4名）も運営協力し、活動ノウハウの蓄積ができました。
 - 午前・「**防災に関する講演など**」 南センター大ホール
 - 午後・「**非常炊出し試食、消火器訓練、クイズ、消防車白バイ見て触れてなど**」 JA 駐車場
- ・午前の講演では、**私たちの自治会16班・岡田様が講演**（防災専門家）され、

防災に関する重要なメッセージ

を頂きました。

受講者の立場で、私たち自治会に関わりそうなことを、**抜粋要約**してお伝えします。

1. 防災、減災、縮災

- それは「**助かるため、生き延びるため**」
- それは「**危険から遠ざかる、危険を遠ざける**」こと
- それは「**過去の事例などから、正しい対処方法を知る**」こと

2. 地震への備え

- 寝室には、**家具を置かない** → 大きく移動・転倒可能性大、はじめから無ければ安心
- 寝室には、スリッパでなく**靴の用意** → 危険なものが散乱し、スリッパではケガを防げない
- 布の軍手でなく**皮の手袋を用意** → 尖ったもの・鋭利なものが、思いもよらぬ所にある
- アウトドア遊びの勧め** → 火を使う・テントや寝袋使う等、方法や注意点の格好の予行演習
- 食事は我慢できるが、**トイレは我慢できない** → 簡易トイレ・袋と凝固剤の用意は、必須
さらに、**消石灰を用意**（長期保存可能）・庭に穴・使用後撒く、これは強い味方！
- 普段食べているものをローリングストック** → **多めに（1週間分の水と食料の用意を！）**
（補足：陸上交通網が寸断、町田は港から遠く、支援が行き渡るのに時間がかかる）

3. その他の災害の特徴や対応

- 最近では、地球温暖化により、**災害が日本のどこで発生**してもおかしくない状況
集中豪雨などは、昔は地形要因で山の付近が中心だったが、今は都市型発生も常態化
- 熱中症 → **日夜・屋内外・年齢問わずの高い発生率、一度なると後遺症にかかる**
（外は帽子・扇子、屋内は換気・エアコン（暑くなってからより涼しい時刻から運転が省エネ））
 - 落雷 → **屋根下・建物・車の中へ**（広い所でのスポーツは**通り過ぎるまで中断**）
 - 竜巻 → **遠ざかる・コース外へ移動、建物の中へなど**
 - 水害・土砂災害 → **どちらも雨が止んだ直後が危険**（ホッとする時間帯が要注意）
避難には、水平移動だけでなく、垂直移動もあり得る
（補足：強い風雨中の避難や、遠い避難施設への移動が困難などのときは、**2階へ避難**）

自らを守ることで地域が守られ、地域を守ることで自らが守られる！